

パノラマリゾートへの今後の支援策は

11月の住民懇談会で大枠を示します



織田 昭雄 議員

質問：パノラマリゾートへの今後の支援策は。

答弁：パノラマは町政の最大の課題で、この再建に向けて町長自らリーダーシップを取り、役場の関係者、パノラマで実際に運営している皆さんと徹底的に議論している最中です。11月に開かれる住民懇談会で大枠を示し、1月に詳細を提示します。

質問：東急グループとタイアップした再建を今後も継続するのか。

答弁：東急グループのよきなプロを入れることは重要だと感じています。プロの力量、意見を十分尊重しながらまとめていきます。

質問：パノラマリゾートのどこに問題があると考えるか。

答弁：スキー客を中心にしたパノラマの発展は難しいと思う。しかしあそこには素晴らしい眺望・お花畑・トレッキングコースがあるということで、フルシーズンで観光客を増やせると思う。昨年の収入は7億円、そのうち6億円がスキー、1億円がマウンテンバイク等その他シーズンの収入です。ペイラインに乗せるためには、最低でもあと1.5億円から2億円必要です。フルシーズンで観光客を増やす具体策を検討しています。

□その他の質問

*新町長の選挙公約について

*結婚相談所のあり方について



大勢の利用者でにぎわう清泉荘デイサービスセンター

清泉荘デイサービスの定員

オーバーにどう対処するか

3年を目標に立て直す予定です



平出 英夫 議員

質問：清泉荘のデイサービスは定員オーバーで、となりの老人福祉センターを間借りの現状であるが。

答弁：清泉荘は築30年以上が経過しており、耐震工事も含めて建て直しの時期がきています。今から計画を立て、3年を目標に立て直す予定です。設計の中で定

員増も含めて検討します。

質問：下水道の処理能力が満杯、自然流下方式に変更したらどうか。

答弁：現在富士見町ではポンプアップが55箇所で行われており、それぞれいろいろなりスクをかかえています。全部自然流下にするには莫大な資金が必要です。風呂の排水方法を工夫することで今のポンプ処理能力でも十分に対応できます。工夫とやり繰りで現状を維持していきたいと思っています。

□その他の質問

*パノラマ支援について
*南中学校の今後の施設利用について

9人の議員がたたきました